

# 第1回「鹿児島港本港区エリアまちづくり懇談会」 結果概要

## 1 開催日時・場所

令和6年5月17日（金）10:00～11:20

鹿児島県社会福祉センター7階 大会議室（鹿児島市）

## 2 会次第

1 開会

2 説明

- ① 鹿児島港本港区エリアまちづくりの進め方等
- ② 施設整備に向けた取組
- ③ 中心市街地との回遊性向上に向けた取組
- ④ 本港区エリアにおける賑わい創出に向けた取組

3 意見交換

## 3 説明内容

- ① 鹿児島港本港区エリアまちづくりの進め方等について県から説明
- ② スポーツ・コンベンションセンター整備について県から説明
- ③ 中心市街地との回遊性向上に向けた取組について鹿児島市から説明
- ④ 本港区エリアにおける賑わい創出に向けた取組についてゆめみなと鹿児島から説明

## 4 意見交換（要旨）

（鹿児島県旅客船協会 事務局長）

- ・ 北ふ頭・南ふ頭では、多くの離島航路があり、約80万人の利用者がいる。
- ・ 施設整備を図る上で大事なことは港湾機能との共存である。
- ・ 鹿児島港本港区エリアコンセプトプランにも記載されているように、港湾機能の維持や渋滞、人流・物流の棲み分けなどの課題に留意しながら整備を進める必要がある。

（鹿児島市商店街連盟 会長）

- ・ 本港区エリアの核となる水族館、スポーツ・コンベンションセンター、港湾施設の整備をまずはしっかりやっていただく必要がある。北ふ頭も整備されれば、もう一つ魅力的な場所ができるのでは。

- ・ 観光客は歴史や文化を求めるが、県民・市民は新しい体験を望んでいるため、県民・市民から見たら一歩進んだ、港湾を中心にしたウォーターフロントパークのイメージを考えた方が良いのでは。
- ・ 令和5年度に天文館や本港区でイベントを同時開催した際、多くの人が回遊したことから、イベントの同時開催や各地区が特徴を持つことで回遊が生まれることを実感した。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 鹿児島商工会議所では令和4年度にまちづくりビジョンを作成・提言し、それを受け「魅力あるまちづくり委員会」を設立した。委員会では115名以上のメンバーが四つの分科会を通じて検討を進めているところ。
- ・ 今回集まったメンバーで色々な話をすれば大体話はまとまるのではないか。
- ・ 予算を伴うことについては、予算確保のためにも、早めに方針を整理していくべきではないか。
- ・ 短期的な話であれば早く進めるべき。例えば、北ふ頭でのクルーズ対応の出入国手続きに必要な施設整備など、優先順位を考えながら進めることが大事である。
- ・ そのほか、旧港湾合同庁舎跡地の取扱いや、スポーツ・コンベンションセンターの渋滞対策など、早め早めに調整すべきでは。

(鹿児島港運協会 事務局長)

- ・ 北ふ頭では外国籍のクルーズ船が入港し、少しずつ賑わいが戻ってきている状況。
- ・ しかし、岸壁での作業中に外国人が立ち入るという危険な状況が報告されており、英語表示の立入禁止看板などの対策が必要。事故が起きれば大変なことになってしまう可能性があるため、早急な対応が必要である。

(鹿児島市商店街連盟 会長)

- ・ スポーツ・コンベンションセンターのPFI事業は、何社が応募したのか。  
→ (スポーツ・コンベンションセンター整備課)
  - ・ 応募の受付は今後であるが、先月事業者向け説明会を開催したところ、県内外から35社が参加したことから、一定の事業者が参加意欲を持っていると考える。

(鹿児島市商店街連盟 会長)

- ・ そのうち県内業者は何社か。  
→ (スポーツ・コンベンションセンター整備課)
  - ・ 県内事業者は 17 社。

(鹿児島県旅客船協会 事務局長)

- ・ 北ふ頭旅客ターミナルの補修調査に関連して、1号岸壁には将来的に多数のクルーズ船が入港する見込みがあり、利用者の利便性を考慮すると、スカイデッキの補修も必要になると考える。

(県土木部 港湾空港課長)

- ・ 北ふ頭旅客ターミナルの補修調査は、まずはエスカレーターなどの修理等を優先的に行いたいと考えている。
- ・ エリアコンセプトプランの短期利活用方針においても、クルーズ船の利用は想定しており、必要な箇所については調査等を行う予定。

(県観光・文化スポーツ部 次長)

- ・ 中心市街地とウォーターフロントパークをつなぐ回遊性が重要。
- ・ 天文館を通過して文化ゾーンまで人をひっぱり、観光客や県民の方々にお金をおとしていただくことが観光の稼ぐ力につながっていく。
- ・ 今後、県の観光分野としても、民間と連携しながら、回遊できる仕組みを作っていきたい。
- ・ マイアミ通りの取組について詳しく聞きたい。  
→ (鹿児島市市街地まちづくり推進課)
  - ・ マイアミ通りは本港区と天文館を繋ぐ重要な路線であり回遊性向上に寄与する取組として、昨年度は社会実験として地元住民を中心としたイベントを行った。
  - ・ 今後、地元住民の意見を取り入れながら、植栽帯の一部改修など、マイアミ通りのあり方について検討していきたい。
  - ・ 昨年度は鹿児島市が社会実験という形で財政的な支援をしたが、今年度のイベントについては財政的支援以外のところを支援していく。イベントの開催時期等についてはマイアミ通りまちづくり協議会が設立される中で検討していきたい。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 賑わいづくりを考えるのであれば、具体的なイベント実施場所を単にウォー

ターフロントパークではなく、例えば一丁台場前の広場とするなどを懇談会で意見交換するのもいいと思う。

(県観光・文化スポーツ部 次長)

- ・ 今後、懇談会の場で、マイアミ通りのイベント情報についても共有していただきたい。
- ・ 本港区エリアで行われるイベントがマイアミ通りと連携することで、さらに中心市街地に人が流れていくのではないか。